

令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

南恩加島	小学校	児童数	49
------	-----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.00	21.73	33.33	40.63	25.77	9.17	151.70	25.77	55.43
大阪市	16.11	18.48	32.94	37.73	42.24	9.50	147.79	20.23	50.79
全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
女子	16.84	20.22	43.11	35.28	28.00	9.63	140.83	16.63	55.25
大阪市	16.00	17.64	37.71	36.25	34.55	9.70	140.60	12.84	52.81
全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64

結果の概要

男子は、シャトルランを除く8種目中7種目において大阪市平均を上回った。また、「長座体前屈」「20mシャトルラン」以外については、全国平均を上回る結果となった。

女子は、「反復横跳び」「20mシャトルラン」以外は、大阪市平均を上回った。「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」「ソフトボール投げ」については、全国平均を上回る結果となった。また、体力合計点については、男女とも全国平均を上回る結果となった。

児童質問紙の質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」について肯定的な回答をした児童の割合は、男子90%、女子78.9%であった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子は0%、女子は29.4%であり、女子については、大阪市平均・全国平均を下回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

運動場が大変狭いため、体育の学習や休み時間の遊びに制約が多い。そのため、運動にさまざまな場面で工夫をしている。

体育の学習の時間にできること（運動時間・量の確保等）を意識して、運動を楽しむ授業実践に取り組んできた。普段の授業では、目標設定と振り返りをしっかりと行ったり、教材・教具の工夫をしたりすることで、限られた場所での効果的な指導を行ってきた。

休み時間は、距離を保ちながら遊べる集団遊びを多く取り入れたりして、少しでも楽しく運動できる環境をつくってきた。その結果、多くの実技項目で全国平均を上回ることができた。

しかし、意識調査から男女でスポーツに対する意識の違いや運動量の違いが浮き彫りとなつた。男女ともに、児童一人一人が体を動かすことの有効性を意識できるように体育の学習や、休み時間の活動にめあてをもつた取り組みを進めていく。